

隅田川にかかる橋梁～「橋の博物館」～

隅田川には、26の橋(※)が架かっています。これらの橋は、その優れた構造と景観から、「橋の博物館」と呼ばれています。
※ 鉄道橋を除く

国の重要文化財に指定された橋梁



勝鬨橋 ①



永代橋 ⑤



清洲橋 ⑦

歴史上重要な橋梁 (国の重要文化財は除く)



両国橋(国管理) ⑨



蔵前橋 ⑩



厩橋 ⑪



駒形橋 ⑫



吾妻橋 ⑬



言問橋(国管理) ⑭



白鬚橋 ⑮



千住大橋(国管理) ⑰

区が管理している橋梁



桜橋 ⑮



中央大橋 ③



相生橋 ④



水神大橋 ⑮



千住汐入大橋 ⑱

平成生まれの橋梁



新豊橋 ⑳



新田橋 ㉕



尾竹橋 ㉑



小台橋 ㉒



豊島橋 ㉓

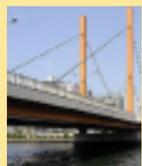
これら以外の橋梁



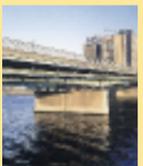
佃大橋 ②



隅田川大橋 ⑥



新大橋 ⑧



尾久橋 ㉑



新神谷橋 ㉖



適切な維持管理による安全・安心の確保に取り組んでいます。

建設局では、隅田川に架かる橋梁をはじめ、約1,250橋の道路橋を管理しています。橋梁は都市活動や都民生活を支える重要な都市施設であり、常に安全・安心に通行できるよう維持管理に努めています。

《1》橋梁の点検

点検には、道路巡回に併せて行う日常点検、5年に1回の頻度で行う定期点検、大雨や地震時などに行う異常時点検があります。定期点検は、人間に例えると健康診断にあたり、定期的に橋の健康状態を把握し、必要な補修・補強(治療)が必要であるかを判断するものになります。

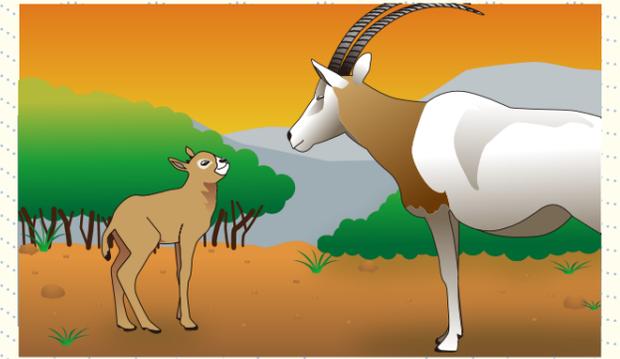
《2》長寿命化

橋の架替えには、莫大な費用がかかるため、架替え時期の平準化と総事業費の縮減が必要です。そのため建設局では、最新の技術によって橋の寿命を延ばす「長寿命化事業」に取り組んでいます。平成22年度は、奥多摩町にある峰谷橋等で長寿命化事業に着手します。

《3》予防保全型管理のさらなる推進

これまでに蓄積してきた点検データにより各橋梁の劣化特性を検証し、効果的な対策を適切な時期に行う予防保全型の橋梁管理を推進しています。今後も予防保全型管理により、安全・安心の確保に努めていきます。

問い合わせ先 道路管理部保全課 03-5320-5295



「シロオリックスの誕生」

多摩動物公園 松井由希子

多摩動物公園のサバンナで、2頭のシロオリックスの赤ちゃんが誕生しました。6月5日に「モンブラン」がオスの「モンド」を、6月22日に「サフラン」がメスの「サラ」を相次いで出産しました。どちらも、朝産室をのぞくとすでに出産は済んでおり、きれいに体が乾いて目をぱちりと開いた仔の姿を見つけました。しっかりとした様子で無事の誕生に安心しました。初産だったサフランを特に心配していましたが、落ち着いたお母さんぶりで、仔は2頭ともすくすくと順調に育っています。

多摩動物公園のサバンナでは、キリンやシマウマなどたくさんの動物達が一緒に生活しています。

サバンナに隣接するフェンスで区切られた小さな運動場へ親子を初登場させると、キリンやシマウマ達が、なんと仔に興味津津でフェンス越しに大集合してきました。こんなふうにはなまれておびえてしまったり、蹴られたりしたら大変です。元気いっぱい走り回る仔の姿を見ると、早く広い運動場へ出してやりたいところですが、もう少し成長を待ってデビューさせる予定です。

シロオリックスは、野生ですでに絶滅し、動物園などの飼育環境にしか残っていない動物です。本来の生息地である北アフリカでは、飼育下繁殖個体の野生復帰が計画されています。

多摩動物公園でも飼育繁殖に力を入れています。生まれたことも達がいつかアフリカへ帰りする事があるかもしれません。夢のような話ですが、そんな風に考えるとわくわくしてきます。

新しいサバンナの仲間となった2頭を、どうぞみなさんも見守って下さい。



【シロオリックスの親子】

～動物園の“かお”～

上野動物園
カリフォルニアアシカ
「かえ」(メス)
平成22年6月1日生まれ
「チャップ」(オス)
平成22年6月26日生まれ



平成22年7月28日撮影

「かえ」の母親が「カコ」で、「チャップ」の母親は「チャッピー」です。2頭とも新しく引っ越した西園のプールで元気に育っています。